

消費生活相談窓口



4月に開設された消費生活相談窓口（本庁・住民生活課）

雇用対策

問（野口議員）

緊急雇用創出事業の嘱託、臨時作業員賃金の内容は。

答（小谷観光商工課長）

認知症を地域で見守る活動推進事業の嘱託職員、臨時職員賃金は、食育計画の策定、路線バス、町営バス利用実態調査、農家台帳整備調査。作業員賃金は町道農道等維持作業。

職員給与

問（近藤議員）

職員との取り決めの給与3%カットが平成20年度で終わる。景気不況の中引き上げる状況でない。その後の取組みは。

答（山口町長）

職員給与は非常に制限されており、昇給もほとんどないのが現状。責任を持つ3月末でその期間は終わる。労使合意の中での給与との定めから、次の責任ある立場になった時、議論すべき課題と考える。

平成21年度 公共下水道事業 特別会計

問（西尾議員）

予算から接続目標20件と判断できるが、接続率を上げるのに目標が低いのではないか。接続率を上げるための、加入金の一括、分割の支払い方法等を含め、具体的方法はないか。

答（船田水道課長）

20年度は80件の目標に対し56件の加入、そのうち前期が50件、後期が6件と今の経済不況の影響を受けた結果となったため、現実に近い数字を計上した。接続率向上の取組みは、広報によるPR、部落、住民説明会を行い、加入金30万円を各家庭からいただくが、家屋の改造費の方が高つく。その負担に耐えられるかが問題。分割支払は滞納が予想されるので、一括支払が最良と考える。

平成20年度 一般会計補正予算 農産物加工施設

問（椎木議員）

なぜこのような時期に農産物加工施設整備の提案が行われたのか

答（山口町長）

大山恵みの里づくり計画のハードの部分の大きな計画のひとつが観光交流センター、もうひとつが農産物加工施設である。この施設整備は大山町総合計画にも載っており以前から実現に向けて

農林水産省と協議を進めてきた。このたび、国の景気対策により有利な財政措置が行われる事を踏まえ、急ぎよ実施することになった。

問（近藤議員）

地元の農業、水産業にどういうメリットがあるか。

答（山口町長）

規格外のものでも商品化され、加工することにより付加価値も高まる。また、冷凍、レトルトにすることにより出荷時期の調整、安定供給が図れる。

みなさんからの陳情は こうなりました

3月定例議会で常任委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

陳情の名	町有林の整備、管理についての要望
陳情者等	大山森林組合 代表理事組合長 奥田 隆夫
委員会の意見	森林の持つ木材生産、国土保全、水源涵養等の多面的な機能を発揮させるため、持続的な森林整備、管理を行う必要性は理解できるものの、陳情者の受託計画が漠然として、趣旨採択と決した。
付託委員会名	経済建設常任委員会
審査結果	趣旨採択